








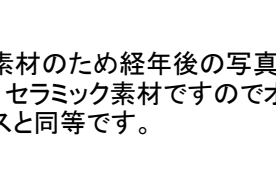


奥歯のかぶせもの 修復治療

※院内で説明を受けた上、本物の模型をご覧になってから素材をお選びいただけます

修復物比較表	金属修復	金属&セラミック修復	金属修復	セラミックス	セラミックス
	金銀パラジウム合金	メタルボンド	金合金	オールセラミックス	ジルコニアセラミックス
新品時					
安全性	★★ ・固いので、対合する良い歯を痛めることがある ・歯との密着性が低いので隙間が細菌の温床に ・腐食で健康への影響 ・欧米では使用禁止の国あり ・金属アレルギーの可能性 ・掌蹠膿疱症の可能性	★★★★ ・歴史があり安定した材質である ・腐食で健康への影響 ・金属アレルギーの可能性 ・掌蹠膿疱症の可能性	★★★★ ・噛み合わせで歯を傷めない ・金属アレルギーの可能性は低い ・歯との密着性が高いため二次虫歯になりにくい ・金合金にも銅が含まれている	★★★★★ ・歯と同じ摩耗度で噛み合わせで歯を傷めない ・金属アレルギーの心配なし ・生体親和性が高い	★★★★★ ・歯と同じ摩耗度で噛み合わせで歯を傷めない ・金属アレルギーの心配なし ・人口関節にも使用され生体親和性が高い
審美性	★ ・銀色で審美的に劣る ・銀色が黒く変色 ・歯茎が黒ずむ可能性	★★★★★ ・見かけは審美的だが金属が透けて見える ・歯茎が下がると金属が見えてしまう ・歯茎が黒ずむ可能性	★ ・金色のため審美性に劣る ・くすんだ金色になり清潔感が劣る	★★★★★ ・自分の歯と同色に作れ他人に気づかれません ・変色はほとんどなし	★★★★★ ・自分の歯と同色に作れ他人に気づかれません ・変色はほとんどなし
耐久性	★★ ・耐久性はある ・金属が口内で腐食する ・腐食したまま放置すると内部虫歯や菌の温床になる	★★★★★ ・高い耐久性 ・セラミック部は強い衝撃で割れる事がある	★★★★★ ・高い耐久性	★★★★★ ・耐久性はあるが強い衝撃で割れる事も	★★★★★ ・金合金と同程度の耐久性
院長コメント	一番の問題は経年的に金属がイオンとして溶け出し金属アレルギーの原因になること、腐食により隙間からむし歯がしやすいことです。	歴史が長くセラミック歯の代表として使われてきましたがアレルギー体質の方は避けたほうが良いです。	見栄えを気にしなければ奥歯には最適な材料と言えます。	最新のセラミックスです。単独の歯で使用する分には見た目も強度も十分です。	最先端のセラミックスです。強度も金属並みにありブリッジの使用にも耐えられます
経年後	 3年後の冠を外した写真。表は真っ黒になりますが、内部も腐食しています。	 セラミックですので変色することはありません。	 3年後の写真。金製品ですので、くすんだ金色に変化してしまいます。	 セラミックですので変色することはありません。	 セラミックですので変色することはありません。
治療単価(税込)	保険診療 自費治療: 保険外の場合 55,000円	110,000円(自費治療)	110,000円(自費治療)	110,000円(自費治療)	132,000円(自費治療)